

## 学長定例記者会見要項

日 時： 令和6年7月4日（木） 11：00～11：45  
場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

### 発表事項

1. 金融リテラシー講座を開催します！～社会人向けオンライン講座、  
8-9月（全3回+検定）～
2. 患者へのアンケートにみる地域による「重粒子線治療」認知度の違いと小藤昌志教授の重粒子線治療  
センター長就任について～山形大学医学部東日本重粒子センター～
3. 環境省「令和6年度食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業」に採択～生ごみ→資源化循環プロジェクト  
：自宅生ゴミが持続可能で環境に配慮した無農薬米として帰ってくる～
4. まちをフィールドに自由研究に取り組もう！～『まちの記憶を残し隊』が七日町で小学生向けのイベ  
ントを企画・開催～
5. イノベーターを創出する「未来創造ラボラトリー」設置～ラボ事業の第一弾「城戸塾」塾生の募集を  
開始します～



### お知らせ

1. 国立大学協会声明に関する学長所感「高等教育の在り方について、いま議論すべきこと」
2. 夏の山大的風物詩 データサイエンス Café 夏フェス開催！  
～みんなの「できるようになりたい！」をサポート～
3. 『観光地経営人材育成ハンドブック：理論編』が刊行されました
4. 企画展「アンモナイトの世界－深田地質研究所コレクションより」～“深田研”からアンモナイトがや  
ってくる！～
5. 第21回日本加速器学会年会 市民公開講座のお知らせ（山形大学医学部・山形大学理学部共催）



（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和6年8月1日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

## 学長定例記者会見（7月4日）発表

### 1. 金融リテラシー講座を開催します！～社会人向けオンライン講座、 8-9月（全3回+検定）～



学術研究院教授（人文社会科学部主担当）

きらやか銀行 頭取

SMB Cコンシューマーファイナンス株式会社 会長

SMB Cコンシューマーファイナンス株式会社

仙台お客様サービスプラザ プラザ長

これかわ はるひこ  
是川 晴彦

かわごえ こうじ  
川越 浩司

かねこ りょうへい  
金子 良平

よこやま よしかず  
横山 慶和

### 2. 患者へのアンケートにみる地域による「重粒子線治療」認知度の違いと小藤昌志教授の重粒子線治療 センター長就任について～山形大学医学部東日本重粒子センター～

理事（病院担当）

山形大学医学部東日本重粒子センター長

大学院医学系研究科先進的医科学専攻/重粒子線医学講座教授

山形大学医学部附属病院重粒子線治療センター長

大学院医学系研究科医学専攻/放射線医学(放射線腫瘍学分野)講座教授

ねもと けんじ  
根本 建二

いわい たけお  
岩井 岳夫

ことう まさし  
小藤 昌志

### 3. 環境省「令和6年度食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業」に採択～生ごみ→資源化循環プロジェクト ：自宅生ゴミが持続可能で環境に配慮した無農薬米として帰ってくる～

学術研究院 准教授（応用生態学）

さとう さとる  
佐藤 智

### 4. まちをフィールドに自由研究に取り組もう！～『まちの記憶を残し隊』が七日町で小学生向けのイベ ントを企画・開催～

人文社会科学部人文社会科学科4年

たなべ としひで  
田辺 稔英

### 5. イノベーターを創出する「未来創造ラボラトリー」設置～ラボ事業の第一弾「城戸塾」塾生の募集を 開始します～

山形大学 フェロー（特任教授）

きど じゅんじ  
城戸 淳二

令和6年（2024年）7月4日

## 金融リテラシー講座を開催します！ ～社会人向けオンライン講座、8-9月（全3回+検定）～

### 【本件のポイント】

- 人生100年時代を見据えた金融リテラシー講座を開講します。
- 社会人生活に活かせる幅広い金融知識を身に付けることができます。
- 講座の最後に金融リテラシー検定を受検することで、学んだ知識の確認ができます。
- 各回120分、全3回。対面開催、また後日、見逃し配信にも対応します。

### 【概要】

人生100年時代といわれ、多様な生き方や働き方が重視される昨今、お金と暮らしの関係も個人のライフプランを踏まえて考えることが必要になっています。

新しいNISA（少額投資非課税制度）の導入もあり、金融商品や投資に関する関心が高まっています。これからの社会において、私たちは金融商品の基礎知識や投資のリスク管理について正確に理解し、暮らしや仕事に活かすことが求められます。しかし、日本では金融教育を受ける機会が十分であるとは言えません。

本講座は、生活の身近なテーマを通してお金や投資の知識を身につけ、経済や社会の仕組みについて考えることを目的としています。講座の最後に金融リテラシー検定を受験することにより、講座で学んだ内容が確認できます。金融に関する重要なポイントを効果的に学べる講座内容になっています。

暮らしに役立つ情報とともに、現在の市場、金融政策、社会保険制度など、ニュースでよく見聞きするワードについても学んでみませんか。



### 【プログラム（予定）】

第1回 8月23日（金） 16:00～18:00

- ① ライフプランを描こう ② 賢い消費者になろう

第2回 8月30日（金） 16:00～18:00

- ③ 金融・経済の仕組みを理解しよう ④ 金融商品・保険を活用しよう

第3回 9月6日（金） 16:00～18:00

- ⑤ 支え合う社会の仕組みを知ろう ⑥ 金融リテラシー検定

### 【金融リテラシー検定】

この検定は、人生100年時代を踏まえ、早い段階での金融教育による計画的な資産形成や金融トラブルの回避等、生活のなかで実用的に活かせる金融知識の取得を目的としています。

〈受検料〉本講座を受講頂いた方は、受検料無料

〈合格点〉100点満点中60点

〈受検方式〉IBT方式（スマートフォンやパソコンで受検頂きます）

〈運営〉一般社団法人金融財政事情研究会

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

\*対面でご来場の方は、第3回目の9/6（金）講座内で受検して頂きます。オンデマンド配信での受講者の方には受検方法を後日お知らせします。

**【受講形式】** 対面 / オンデマンド配信 ※全回、見逃し配信あり

**【会場】** 山形大学小白川キャンパス 人文社会科学部棟1号館301教室

**【担当講師の紹介】**

第1回 深津遥氏(SMBC コンシューマーファイナンス株式会社)  
岡崎勲氏(株式会社きらやか銀行)  
岡庭英重(山形大学人文社会科学部講師 専門:健康経済学)

第2回 深津遥氏(SMBC コンシューマーファイナンス株式会社)  
中鉢啓太氏(株式会社きらやか銀行)  
是川晴彦(山形大学人文社会科学部教授 専門:理論経済学)

第3回 深津遥氏(SMBC コンシューマーファイナンス株式会社)  
坂本直樹(山形大学人文社会科学部教授 専門:財政学)

**【受講の概要】**

受講料 3,000円 (別途、決済手数料 275円が必要です)  
[申込後、専用のオンライン決済システムでお支払いをお願いします]  
受講料金は山形大学エクステンションサービス推進本部の運営資金として頂戴します。  
SMBC コンシューマーファイナンス株式会社と株式会社きらやか銀行は、社会貢献の一環として実施しており、収益は得ておりません。

定員 100名 (8/7 (水) 締め切り、また定員に達し次第、受付を終了します)

申込・詳細 エクステンションサービス推進本部のホームページ  
( <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/extension/100.html> ) から

お問い合わせ (講座内容・検定について) SMBC コンシューマーファイナンス株式会社  
仙台お客様サービスプラザ TEL 022 - 268 - 6441  
(お申し込み方法について)  
山形大学エクステンションサービス推進本部(YEX)  
TEL 023 - 628 - 4779



申し込みフォーム

講座全体のお問い合わせ

**YEX** Yamagata University  
Extension service  
organization

学術研究院・講師 (人文社会科学部担当) 石黒 志保  
小白川キャンパス事務部総務課 社会連携担当 大木 健太郎  
TEL 023-628-4779 メール [yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

# 人生 100 年時代を見据えた 金融リテラシー講座

人生 100 年時代といわれ、多様な生き方や働き方が求められる昨今、お金と暮らしの関係も個人のライフプランを踏まえて考えることが必要ではないでしょうか。

本講座は、生活の身近なテーマを通してお金の知識を身につけ、経済の仕組みについて考えることを目的としています。暮らしに役立つ情報とともに、現在の市場や社会保険制度など、ニュースでよく見聞きするワードについて学んでみませんか。

2024  
**8/23** (金)  
16:00~18:00

## 第1回

- ① ライフプランを描こう
- ② 賢い消費者になろう

講師 深津 遥 (SMBCコンシューマーファイナンス株式会社)  
岡崎 勲 (株式会社きらやか銀行)  
岡庭英重 (山形大学人文社会科学部 専門：健康経営学)

〈講座内容〉 計画的にお金を使う / 「働く」を考える  
消費者トラブルから身を守る / お金を借りるといこと

2024  
**8/30** (金)  
16:00~18:00

## 第2回

- ③ 金融・経済の仕組みを理解しよう
- ④ 金融商品・保険を活用しよう

講師 深津 遥 (SMBCコンシューマーファイナンス株式会社)  
中鉢啓太 (株式会社きらやか銀行)  
是川晴彦 (山形大学人文社会科学部 専門：理論経済学)

〈講座内容〉 金融の仕組み / 経済の仕組み / 金融商品  
生命保険・損害保険

2024  
**9/6** (金)  
16:00~18:00

## 第3回

- ⑤ 支え合う社会の仕組みを知ろう
- ⑥ 金融リテラシー検定

講師 深津 遥 (SMBCコンシューマーファイナンス株式会社)  
坂本直樹 (山形大学人文社会科学部 専門：財政学)

〈講座内容〉 社会保険制度、税金・社会保険料  
金融リテラシー検定について



## 金融リテラシー検定

第3回で  
受検頂けます！

この検定は、人生 100 年時代を踏まえ、早い段階での金融教育による計画的な資産形成や金融トラブルの回避等、生活のなかで実用的に活かせる金融知識の取得を目的としています。

〈受検料〉 本講座を受講いただいた方は無料  
〈合格点〉 100点満点中60点  
〈受検方式〉 IBT方式  
(スマートフォンやパソコンで受検頂けます)

〈運営〉 一般社団法人金融財政事情研究会

受講形式 対面 / オンデマンド配信 ※ 全回、後日録画配信あり

定員 100名 対象 一般 (これからお金の勉強をしたい全ての方)

会場 山形大学小白川キャンパス  
人文社会科学部棟 1号館 301 教室

受講料金 3,000円 (本講座を受講頂いた方は受検料無料)



MAP

お申し込み 山形大学 YEX の HP より、8/7 までにお申し込みください！

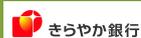
<https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/extension/100.html>



お問い合わせ (講座内容について) SMBCコンシューマーファイナンス株式会社  
仙台お客様サービスプラザ TEL 022 - 268 - 6441

(お申し込み方法等) 山形大学エクステンションサービス推進部 (YEX)  
TEL 023 - 628 - 4779

受講料金は山形大学 YEX の運営資金として頂戴します。SMBCコンシューマーファイナンス株式会社と株式会社きらやか銀行は社会貢献の一環として実施しており、収益は得ておりません。



SMBCコンシューマーファイナンス株式会社



令和6年（2024年）7月4日

## 患者へのアンケートにみる 地域による「重粒子線治療」認知度の違いと 小藤昌志教授の重粒子線治療センター長就任について ～山形大学医学部東日本重粒子センター～



### 1. 患者へのアンケートにみる地域による「重粒子線治療」認知度の違い

#### 【本件のポイント】

- 東日本重粒子センターで実施している患者アンケートの結果、重粒子線治療の認知度は山形県内では75%であるのに対し、県外では、そのおよそ3分の1の27%であることが明らかになりました。

#### 【概要】

東日本重粒子センターでは、治療の最終日に患者さんにアンケートにご協力いただき、その結果を設備の新設・改修やサービス向上に反映させてまいりました。

令和6年2月からアンケート様式を一部変更し、新たに「お住まいの地域での重粒子線治療の認知度」についての質問を設けました。2月から5月までの4か月分を集計した結果、山形県内では認知度が75%であるのに対し、県外では、そのおよそ3分の1の27%にとどまることが明らかになりました。

旧様式：令和3年4月～令和6年1月 アンケート協力者数：1,342人

新様式：令和6年2月～令和6年5月 アンケート協力者数：219人

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

### 【アンケート集計結果】

お住まいの地域での重粒子線治療の認知度はいかがでしょうか？

県内

選択肢	ほとんど 知られていない	ある程度 知られている	多くの人が 知っている	わからない
回答 (%)	13.8%	57.2%	17.9%	11.0%

県外

選択肢	ほとんど 知られていない	ある程度 知られている	多くの人が 知っている	わからない
回答 (%)	57.7%	25.4%	1.4%	15.5%

### 【今後の展望】

がん対策基本法においては、第二条に基本理念として、「がん患者がその居住する地域にかかわらず等しく科学的知見に基づく適切ながんに係る医療を受けることができるようにすること。」（がん医療の均てん化）と明確に謳われています。本調査では、重粒子線治療の認知度が施設設置県とそれ以外の県で著しく差があり、この点における均てん化には程遠いことが明らかになりました。当センターでも県外メディアに向けた広報活動は積極的に行ってきましたが、認知度を県内並みにアップするにはまだまだ質・量ともに不足していたと分析しています。

この結果を受けて、当センターでは9月30日に青森市で、12月15日に山形市で一般市民向け公開セミナーを開催するなど、今後も県内外で継続して当センターにおける重粒子線がん治療に関する情報提供に努めます。

## 2. 小藤昌志放射線医学講座放射線腫瘍学分野教授が附属病院重粒子線治療センター

### 長に就任

<略歴>

出身大学：東北大学医学部 1996年3月卒

1996年～聖路加国際病院内科

1999年～東北大学病院放射線治療科

2005年～米国 MD Anderson Cancer Center, Department of Experimental Radiation Oncology

2007年～東北大学病院放射線治療科

2010年～量子科学技術研究開発機構（旧放射線医学総合研究所）

2020年より放射線医学総合研究所 重粒子線治療研究部 部長

2023年より放射線医学研究所 副所長

2024年7月1日より現職

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務室

電話：023-628-5576

e-mail：yu-heavyion@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL：https://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/



山形大学医学部

東日本重粒子センター

EAST JAPAN HEAVY ION CENTER

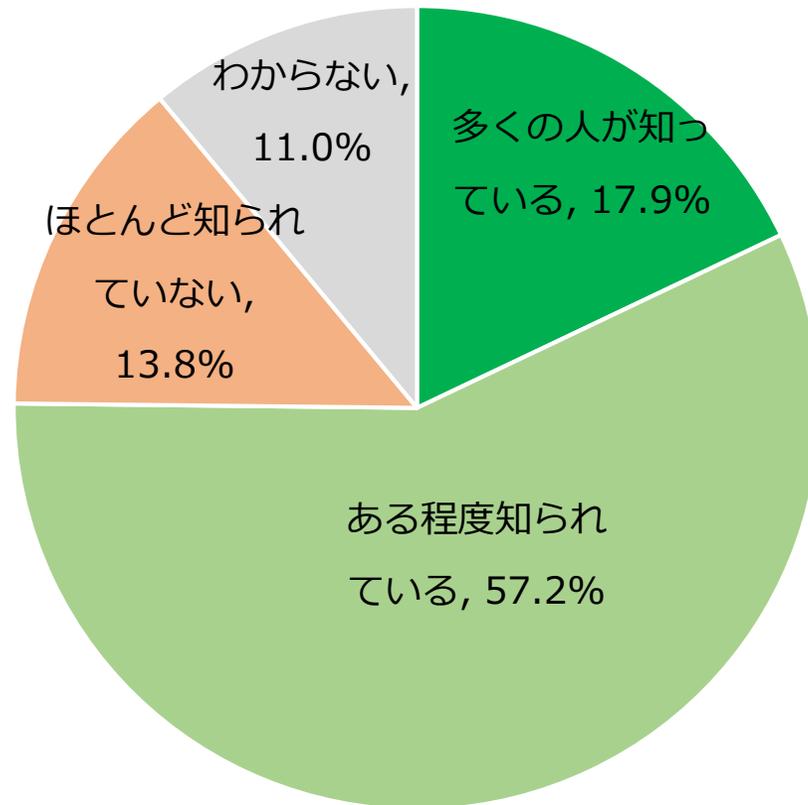
FACULTY OF MEDICINE - YAMAGATA UNIVERSITY

# 重粒子線治療を受けた患者さんへのアンケート

【質問】 お住まいの地域での重粒子線治療の認知度はいかがでしょうか？

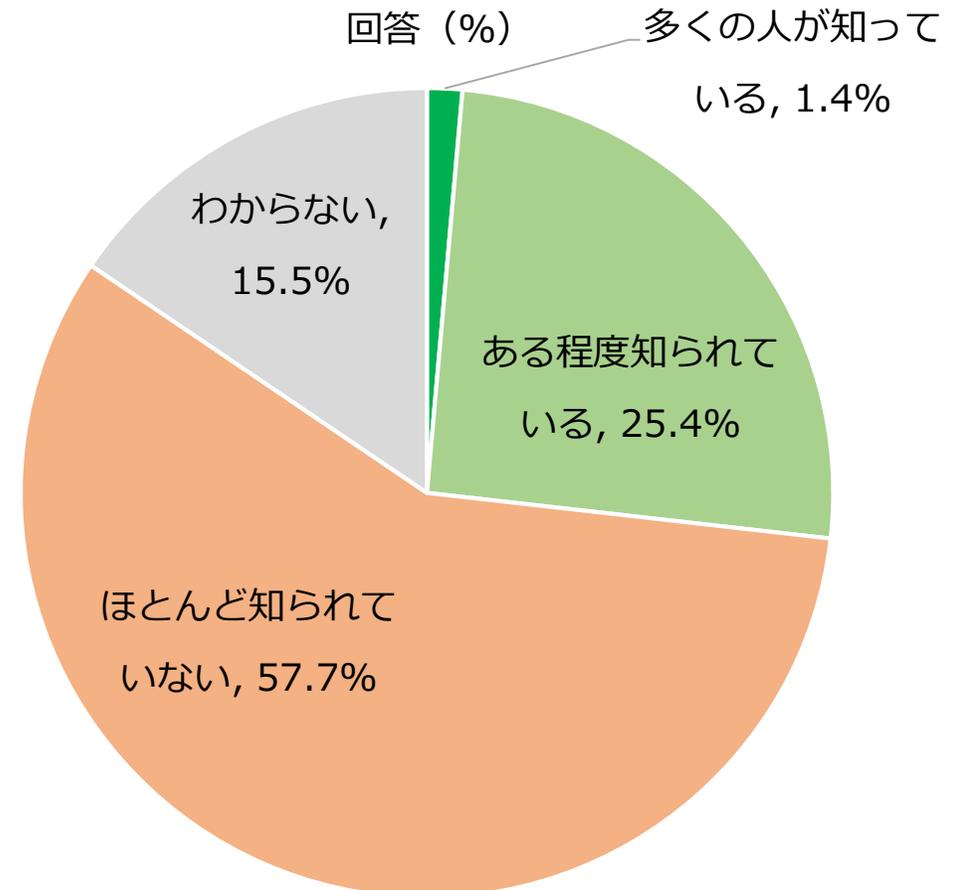
## 山形県内

回答 (%)



## 山形県外

回答 (%)



# 山形大学医学部

学部長：永瀬 智

## 附属病院

病院長：土谷順彦

## 東日本重粒子センター

センター長：岩井岳夫

## 重粒子線治療センター

センター長：小藤昌志

### 教育研究部

部長：元井冬彦

### 重粒子線診療部

部長：佐藤 啓

#### 重粒子線 診療委員会

### 装置管理部

部長：岩井岳夫

#### 重粒子線装置 管理委員会

東日本重粒子センター  
運営委員会

令和6年(2024年)7月4日

## 環境省「令和6年度食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業」に採択 ～生ごみ→資源化循環プロジェクト：自宅生ゴミが 持続可能で環境に配慮した無農薬米として帰ってくる～

### 【本件のポイント】

- 環境省の「令和6年度食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業」に採択。  
事業期間は2024年7月から12月まで。
- 農学部生協売店から発生する食品廃棄物を学内で完全に資源化するシステムを開発。
- このシステムを活用して、大学生および職員の自宅からの生ゴミも資源化し、循環させることが可能。
- 自宅からの生ゴミを効率的に回収・処理し、資源化する新システムの導入に向けた開発が進行中。



### 【概要】

環境省「令和6年度食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業」の採択を受け、当事業では山形大学農学部の「ヤマダイミズアブラボ」に24時間利用可能な生ゴミポストを設置し、学生や職員が自宅から持ち込んだ生ゴミの受け入れを始めます。持ち込まれた生ゴミの重量に応じて、その20%を無農薬栽培のササニシキ米として還元し、このお米は、山形大学の農場でヤマダイミズアブ製のたい肥（ミズアブのフン）を使用して育てられます。この活動を通じて、参加者の環境に対する意識の変化や、二酸化炭素排出の抑制に伴う経済的効果などを分析します。

開始時期：令和6年7月から  
場 所：山形大学農学部  
主 催：ヤマダイミズアブ

### 【背景】

- ・世界中で増加する食品廃棄物問題に直面しています。山形県でも、食品廃棄物の処理コストが増加しており、この問題への対応が急務となっています。
- ・日本国内では、肥料や飼料の価格が高騰し、高止まりしています。この状況は地域社会にも影響を及ぼしています。
- ・地元山形県で発生する食品廃棄物を、焼却ではなく資源化し、肥料や飼料として地域に循環させることで、持続可能な解決策を模索しています。
- ・特に家庭からの生ゴミは自治体の焼却炉に大きな負担をかけており、これによる二酸化炭素の排出増加も問題です。
- ・当プロジェクトでは、山形大学の学生や職員が関わる食品の生ゴミを大学内で処理し、資源化することにより、二酸化炭素の排出抑制と資源の地域循環を図ることを目指しています。

### 【研究手法・研究成果】

- ・プロジェクト「ヤマダイミズアブ」では、山形大学で採取し、大学内の食品残渣で繁殖したアメリカミズアブを活用しています。これは、社会的なニーズに応じて様々な形で活用されることを目指しています。
- ・長年にわたり蓄積された資源化技術のノウハウを活用し、食品残渣からアメリカミズアブを育成する研究を行っています。この取り組みにより、持続可能な資源循環システムの構築を目指しています。

お問い合わせ  
学術研究院准教授 佐藤 智 (応用生態学)  
メール satorus@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

### 【今後の展望】

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

- ・新しい生ゴミ処理ネットワークモデルの開発を進めています。このモデルは、持続可能な社会の構築に貢献することを目指しており、地域社会における廃棄物処理の効率化と環境保護に寄与することが期待されます。
- ・また、これまでに得られた知見を活かし、「ヤマダイミズアブ式環境教育」として、環境教育の分野での応用を進めています。これにより、より広範な社会活動への貢献を目指します。

**【用語解説】**

アメリカミズアブ：ハエ目の昆虫の一種で、日本においては侵入種とされています。北海道を除く日本各地に定着しており、世界的にも食品廃棄物の処理資源化に利用される研究や事業が行われています。

令和6年（2024年）7月4日

## まちをフィールドに自由研究に取り組もう！

～『まちの記憶を残し隊』が七日町で小学生向けのイベントを企画・開催～

### 【本件のポイント】

- 『まちの記憶を残し隊』が、サークル活動によって習得した山形の歴史・カメラの使い方・インタビューのやり方などの知識・技能を活用し、七日町において自由研究に取り組む小学生向けのイベントを企画しました。
- 取り組むテーマはあらかじめ設定しており、主に自由研究のやり方に困っている小学生を対象にしています。テーマは4つ設定し、家庭科・美術・理科・国語など様々な教科を横断した内容になっています。また、本イベントのみで完結するのではなく、自宅に帰り、夏休みを通して取り組むことができる内容にもなっております。  
※詳しい内容は別紙のチラシに記載
- 本イベントのスタッフは、山形大学の学生をボランティアとして募集しております。山形大学生のなかには、県外から引っ越してきて、山形のことをあまり知らない人もいます。教育に興味がある、絵を描くことが好きだ、水質検査に興味があるなどの理由からボランティアとして参加してもらうことで、山形市七日町という地域を知る機会になればと思っています。  
学生ボランティアについては、右のQRコードより受け付けております。



▼ ボランティア申し込み ▼



### 【概要】

『まちの記憶を残し隊』は、“現在”の山形の風景・景観を写真や動画等で記録・収集し、「記憶」を後世に伝える活動を行っているサークルです。私たちは、この活動を通して、山形の歴史・カメラの使い方・インタビューのやり方など様々な知識・技能を得ることができました。今回は、私たちの知識や技能を、小学生に役に立ててもらいたいと思い、サークルと深い関わりがある『山形まちづくり株式会社』さん、七日町のみなさんのご協力のもと、イベントを開催いたします。

山形市内の小学生を対象に、夏休みの自由研究に早めに着手し、どのように自由研究に取り組めばよいのか、その方法を山形大学の学生とともに学ぶ内容です。また、イベントで取り組んだ内容を、夏休みを通して、深めることができる内容にもなっております。

### 【開催要項】

- ・開催日程：2024年7月27日(土)・28日(日)
- ・開催時間：10:00-13:00 (9:30受付開始)
- ・場所：アズ七日町 中央公民館  
ギャラリー・研修室3(一日目) 大会議室(二日目)
- ・対象：小学3年生-6年生 (保護者同伴必須)
- ・定員：一日目=9家族 二日目=6家族 (各テーマ定員3家族)
- ・申込：2024年7月24日(水) 23:59まで(定員に達した場合、受け付け終了)  
右のQRコードより受け付けます
- ・共催：山形まちづくり株式会社
- ・協力：美しい山形・最上川フォーラム

▼ イベントの申し込みはこちら ▼

7/8(月)15:00より募集開始



お問い合わせ：まちの記憶を残し隊  
E-mail: machinokiokuwonokoshitai@gmail.com

山形大学サークル  
「まちの記憶を残し隊」が企画！

# 夏休みが始まる前に

## 自由研究に取り組もう！

### In 七日町

①食べ物の材料を調べよう！  
(中学年向け、7/27のみ実施)

②お店の記事を書こう！  
(中学年向け、7/28のみ実施)

③御殿堰の水を調べよう！  
(高学年向け、両日実施)

④七日町の観光チラシをつくろう！  
(高学年向け、7/27のみ実施)

山形大学生とともに  
自由研究の取り組み方を  
学びませんか？

小学生対象 (3-6年生)  
保護者同伴必須

各テーマ定員3家族・先着順  
7/8(月)15:00より募集開始

▼ 申し込みはこちらから ▼



問い合わせ先  
まちの記憶を残し隊 主催者 高橋・田辺  
E-mail: machinokiokuwonokoshitai@gmail.com

共催：山形まちづくり株式会社  
協力：美しい山形・最上川フォーラム



「隊のおかしら」

2024

7.27 (土)

7.28 (日)

場所：アズ七日町4階中央公民館

時間：10:00-13:00



まちの  
記憶を  
残し隊

山形大学

## 山形大学サークル「まちの記憶を残し隊」とは…

現在の山形の風景・景観を写真や動画等で記録・収集し、山形大学附属博物館にて保存することにより、「記憶」を後世に伝える活動を行っているサークルです。

ホームページはこちら→



## テーマの詳しい内容 ※各テーマ定員は3家族

テーマ (対象学年)	内容	イベント後に取り組める研究
『食べ物の材料を調べよう。』 (中学年向け、7/27(土)のみ実施)	七日町にあるお菓子、飲み物を食べたあと、その材料を調べ、まとめよう！ ※まとめノートのテンプレートを配布 お菓子・飲み物の購入は自己負担	・夏休みに食べた料理やお菓子の材料についての研究
『お店の記事を書こう。』 (中学年向け、7/28(日)のみ実施)	七日町のお店の写真を撮り、それをもとに絵を描こう！そして、お店の人に話を聞いて、記事まとめよう。 ※記事の下書きを配布	・他の場所のスケッチを描く ・他のお店の人にお話を聞きに行く
『御殿堰の水を調べよう。』 (高学年向け、両日実施)	七日町の御殿堰の水の水質を、検査キットを使って調査しよう。比較対象として、地下水・水道水も調査します。 ※検査キットの貸し出し	・周りの水の水質を検査
『観光チラシをつくらう。』 (高学年向け、7/27(土)のみ実施)	対象の店舗の従業員さんにインタビューして、インターネットでは検索できない魅力を入れた観光のチラシを作ろう！ 自分でインタビューする方法を学ぶことができます。 ※チラシのテンプレートを配布	・イベント中に取り組んだ観光チラシを完成させる ・他の場所の記事を追加

## イベント詳細

### 【日時】

令和6年7月27日(土) 28日(日)  
10時-13時(9時半受付開始)

### 【会場】

一日目：中央公民館 **ギャラリー (集合)**  
二日目：中央公民館 **大会議室 (集合)**

### 【持ち物】

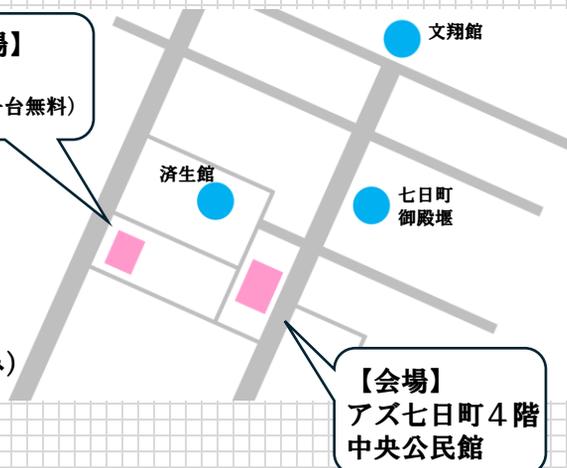
- ・熱中症対策 (帽子、飲み物)
- ・筆記用具
- ・生活バッグ
- ・傘・カッパ (雨天時)
- ・お菓子・飲み物代 (『食べ物の材料を調べよう』のみ)
- ・長靴 (『御殿堰の水を調べよう。』のみ)

### 【駐車場】

場所：N-GATE (一家族一台無料)  
※受付時に駐車券をご提示ください。

### 【駐車場】

N-GATE  
(一家族一台無料)



### 【会場】

アズ七日町4階  
中央公民館

令和6年（2024年）7月4日



## イノベーターを創出する「未来創造ラボラトリー」設置 ～ラボ事業の第一弾「城戸塾」 塾生の募集を開始します～

### 【本件のポイント】

- 学長特別プロジェクトとして「未来創造ラボラトリー」を立ち上げ。
- ラボラトリーディレクターには、城戸淳二特任教授（山形大学フェロー）が就任。
- ラボ事業の第一弾「城戸塾」。主に学部1年生対象にフェローによる個別指導。7月8日(月)塾生募集開始。



令和6年7月4日、学長特別プロジェクトとして、未来創造ラボラトリー（Future Creation Laboratory（略称 | FCLab））を立ち上げました。ラボラトリーディレクター（ラボ責任者）には、本学フェローの城戸淳二特任教授が就任しました。FCLabは、世界を革新するイノベーターの育成と創出を目的とし、主に人材育成と研究開発を実施します。

FCLabは、「日本の科学技術レベルが下がっていることが指摘され、その上少子化が進行しており、日本の将来を懸念。科学技術立国として成長し続ける解決法は、イノベーターと呼ばれる革新的な技術を生み出す人を増やすこと」であり、「将来を支える若い人たちには自分の豊かな発想でチャレンジをしてもらい、常に大きな夢を持って、学び・研究に没頭してほしい」という思いからスタートするものです。

FCLab事業の第一弾として「城戸塾」を開塾します。主に学部1年生を対象にフェロー自らによる個別指導を行います。7月8日(月)から塾生の募集を開始し、募集人数は10名程度を予定しています。

FCLabの運営費は、本学と事業運営に賛同いただいた企業団体等からの寄附等にて活動していきます。

### 山形大学未来創造ラボラトリー（Future Creation Laboratory）の概要

名称	山形大学未来創造ラボラトリー Future Creation Laboratory（略称   FCLab）
目的	世界を革新するイノベーターの育成と創出
事業内容	1) 人材育成 ・城戸塾（主に学部1年生対象） ・城戸塾（若手研究者対象） ・若手研究者イノベーター挑戦プログラム ・高校生向けサイエンスキャンプ（全国の大学10～20研究室との連携） ・高校生向けアントレプレナーシップ教育（アントレプレナーシップ教育研究センターとの連携） ・出前授業 2) 研究開発 ・有機エレクトロニクスに関する基礎研究から応用、社会実装 ・大型プロジェクトの研究総括
ディレクター	城戸 淳二 特任教授（山形大学フェロー）
担当教員	佐野 健志 教授（有機エレクトロニクスイノベーションセンター長） 高橋 辰宏 教授（大学院有機材料システム研究科）
ラボ経費	基盤経費（人件費・ラボ維持費）   大学拠出 事業経費（事業実施費）   企業団体等からの寄附等

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

設置年月日	令和6年7月4日
ホームページ	URL   <a href="https://fclab.yz.yamagata-u.ac.jp">https://fclab.yz.yamagata-u.ac.jp</a> 
場所・問合せ	山形大学未来創造ラボラトリー 〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16 米沢キャンパス11号館 5階 Tel   0238-26-3052 Mail   fclab@gp.yz.yamagata-u.ac.jp

## 令和6年度「城戸塾」 塾生募集

令和6年度「城戸塾」を開塾します。城戸塾は、主に学部1年生を対象に、「将来、世界を革新するイノベーターになりたい」という夢を抱く学生に対して、大学でどういった学びや研究、経験をすればいいか、城戸フェローがメンターとして個別指導するプログラムです。

令和6年度「城戸塾」の塾生を以下にて募集します。

塾長	城戸淳二フェロー
受講方法	塾長による個別指導 対面方式 or WEB 会議方式
入塾期間	令和6年8月～
入塾式	令和6年8月5日(月) 15:00～ 小白川キャンパス内(後日連絡いたします) ※上記日時での参加が難しい場合は、応募の際にその旨明記願います。
入塾料	無料
応募資格	本塾に応募できる者は、次の各号の条件を満たす者 (1) 山形大学に在籍する学生(主に学部1年生) (2) 将来、世界を革新するイノベーターを目指したい者
募集人数	10名程度(※応募が多数の場合は、面談により選考します。)
応募期間	令和6年7月8日(月)～7月26日(金)(随時受付)
応募方法	E-mail に下記の事項を記載のうえ、お申し込みください。 申込先   fclab@gp.yz.yamagata-u.ac.jp メール件名   城戸塾申込 記載内容   ①氏名(ふりがな)及び学部・学科・学年、②連絡先(E-mail・電話番号)、 ③志望動機(200字程度)、④その他(※何か伝達事項等あれば、記載ください)

### 【本プレスリリースへの問い合わせ】

山形大学未来創造ラボラトリー 城戸 淳二  
Tel | 0238-26-3052  
Mail | fclab@gp.yz.yamagata-u.ac.jp  
(事務担当)  
山形大学研究情報部 五味康信  
Tel | 023-628-4843  
Mail | fclab@gp.yz.yamagata-u.ac.jp

令和6年(2024年)7月4日  
山形大学

\*詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. 国立大学協会声明に関する学長所感「高等教育の在り方について、いま議論すべきこと」

令和6年6月7日付けで一般社団法人国立大学協会から発出された声明に関する山形大学学長所感です。

## 2. 夏の山形の風物詩 データサイエンスCafé 夏フェス開催！～みんなの「できるようになりたい！」をサポート～

山形大学データサイエンス教育研究推進センター（YUDS）では、本学生を対象に、この夏季休暇中、短期集中的にデータサイエンス（DS）のスキルアップができる主体的な学びのセミナー“データサイエンスCafé 夏フェス”を開催します（無料）3コースと特別講演会をご準備しておりますので、お気軽にご参加ください！

## 3. 『観光地経営人材育成ハンドブック：理論編』が刊行されました

山形大学人文社会科学部では、2017～23年に行われた寄付講義「ツーリズム産業」を開講しましたが（日本観光振興協会、学部生対象）、2023年に、観光庁が『ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン』を発表したことに合わせ、リカレント教育用の教材を開発し、テキストとして発刊しましたのでお知らせします。

## 4. 企画展「アンモナイトの世界－深田地質研究所コレクションより」～“深田研”からアンモナイトがやってくる！～

令和6年度山形大学附属博物館企画展「アンモナイトの世界－深田地質研究所コレクションより」及び本展をプロデュースした村宮悠介氏と相場大佑氏をお招きして講演会を開催します。

### ●講演会「アンモナイトのすべて」

アンモナイトをどうやって見つけ、分析し研究しているのか、本展をプロデュースした古生物学者の村宮氏と相場氏がアンモナイトの世界を楽しくお話しします。

講師：公益財団法人深田地質研究所研究員 村宮悠介、相場大佑

日時：令和6年7月20日（土）10時00分～11時45分（1時間45分）

定員：100名（要申込み・先着順）

参加費：無料

会場：小白川キャンパス人文社会科学部1号館3階301教室

申込：下記フォームかお電話・メールにて受付けます。締切7月16日（火）。

＜＜<https://forms.office.com/r/bw5Ze2YxQU>＞＞

## 5. 第21回日本加速器学会年会 市民公開講座のお知らせ（山形大学医学部・山形大学理学部共催）

山形大学医学部・山形大学理学部が共催する第21回日本加速器学会年会 市民公開講座が開催されます。

「病院で活躍する加速器 ～病気を見つけて治す令和のスーパードクター～」

講師：鹿戸 将史（山形大学医学部 放射線医学講座 放射線診断学分野 教授）

小藤 昌志（山形大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学分野 教授）

日時：7月31日（水）18:30～20:00（開場：18:00）

会場：やまぎん県民ホール（大ホール） 参加費：無料

主催：一般社団法人日本加速器学会 共催：山形大学医学部・山形大学理学部 後援：山形コンベンションビューロー

## 国立大学協会声明に関する学長所感

「高等教育の在り方について、いま議論すべきこと」

山形大学は、今年で創立 75 周年となります。昭和・平成・令和の時代を通じて、10 万人を超える有為の人材を世に送り、社会の発展に貢献してきました。現在も、本学が掲げる 3 つの基本使命「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」の実現に向けた教育、研究、社会共創を推進し、地域人材育成と新たな地域価値の創出に取り組んでいます。

しかし、先般、国立大学協会が発表した声明（令和 6 年 6 月 7 日）にもあるように、国立大学を取り巻く財務状況は非常に厳しくなっています。物価や光熱費、人件費が増加する一方で、運営費交付金の基幹的経費は段階的に削減されています。各大学では新たな財源を確保するために、外部資金の増加や固定資産の有効活用等に努めていますが、これらの取り組みは地域経済の規模に左右されるため、地方の大学は大都市圏に比べてさらに厳しい状況に直面しています。

このような厳しい財務状況の中、国立大学の授業料の引き上げについての議論が社会で注目を集めています。しかし、その議論において、地域格差への視点が欠けているのではないかと感じるがあります。

大学進学率には地域差があり、東京都では大学進学率が 70%を超える一方、山形県など東北各県では 40%台にとどまっています。これは、大都市圏と地方での所得格差や、大学入学前の教育機会の格差が影響していると考えられます。また、地方都市では自宅から通える大学が少ないことも、大学進学率の地域差を生む要因となっています。

高等教育に関して、このような地域格差がある中で、受益者負担で教育の質を高めるとする競争主義的な考えが社会で広まることには大きな危機感を覚えます。

高等教育の在り方について、いま社会全体で真っ先に議論すべきなのは、授業料の引き上げではなく、教育の機会均等に向けた公費の拡大です。特に、所得格差に対しては奨学金制度の拡充、地域格差に対しては人口減少地域の教育を支える国公私立大学や専修学校への一層の財政的支援が、議論されるべきです。

人口減少が喫緊の課題である山形県において、山形大学には県内外から若者が集い、キャンパスでの学びと生活を通じて地域に大きな活力をもたらしています。山形大学は、地域を支える多様な人材の育成、産学官金連携による新たな地域価値の創出、医学部附属病院と東日本重粒子センターによる地域医療への貢献などを通じて、地域社会の発展にますます力を

発揮していきたいと考えています。また、本学が創設したやまがた社会共創プラットフォームを通じて、県内公私立大学との連携をさらに深め、地域の高等教育を支える共通基盤としての役割を積極的に果たしてまいります。これからも、山形大学と社会の皆様が、経済、文化や生活の充実・向上において、多様で多くの関わりを持ち続けられるよう、地域で活躍する大学への財政的支援について、皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

令和6年7月4日

山形大学長 玉手 英利

令和6年（2024年）7月4日

## 夏の山大的風物詩 データサイエンスCafé 夏フェス開催！ ～～みんなの「できるようになりたい！」をサポート～

### 【本件のポイント】

- 山形大学データサイエンス教育研究推進センター（YUDS）では、本学生を対象に、この夏季休暇中、短期集中的にデータサイエンス（DS）のスキルアップができる主体的な学びのセミナー“データサイエンスCafé夏フェス”を開催します（無料）
- データサイエンスCafé夏フェスとして、以下の3コース及び特別講演会をご準備しました。



### 【概要】

プログラミングや高度なソフトウェアを使いこなしたい気持ちはあるが、始めるきっかけとなる最初の一步が学生生活においては少ない。「何かできるようになりたい」「何かやりたい」意欲に満ち溢れた皆さんのために、この夏季休暇中、短期集中的にDSのスキルアップができる主体的な学びのセミナー“データサイエンスCafé 夏フェス”を開催します。この企画の最大の特徴は、仲間と一緒に作業して、「ちょっとわからない」や「なんだココは？」などを、気軽に隣の仲間に聞ける環境で進めます。今年の夏フェスは、3コース準備しました。それぞれのコースを受講後、各自のスキルアップの成果をコンテストで発表いただき、優秀者には、山形県産黒毛和牛、庄内メロン、尾花沢スイカ、その他グッズを贈呈します。

そして、牧野淳一郎氏（神戸大学大学院理学研究科・特命教授）による特別講演「機械学習用プロセッサの開発とその応用」も開催します。お気軽にご参加ください！

### 【背景】

YUDSは、DSを学ぶ魅力を学内外に発信しています。

プログラミングや高度なグラフィックソフトを使えるようになりたいけど、一人でスキルを上げていくのは難しいものです。スキルアップの勉強をしている時に、自分より少し分かっている方が隣にいて、気軽に「ここ、どうしたらいい？」とお互いに教え合える空間があると良いですね。「できるようになりたいけどなかなか…」と思っている学生のみなさん、チャンスです！この夏季休暇中、短期集中的にDSのスキルアップができる主体的な学びのセミナー“データサイエンスCafé 夏フェス”を、今年も開催します！

### 【コース開催概要】

受講対象：大学生（初めて使う方～より使えるようになりたい方）

開催場所：データサイエンス多目的ホール（小白川キャンパス理学部2号館5階511）

受講料：無料

#### ■ データ活用（Python）コース（定員10名）

開催日時：7月29日（月）9:00～17:00

成果発表会：8月2日（金）13:00～15:00

対象 | Pythonをコレから学びたい人～より使いこなしたい方

内容 | Pythonを使って簡単なデータ計測や解析ができるようになる

申込み方法：以下のFormsよりお申し込みください。（締切：7月22日（月））

<https://forms.gle/c7HLA56Mkr6HGawA8>

#### ■ データ活用（MATLAB）コース（定員12名）

開催日時：7月30日（火）9:00～10:30、13:00～14:30

成果発表会 8月2日（金）13:00～15:00

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

対象 | MATLAB をコレから学びたい人～より使いこなしたい方

内容 | MATLAB を使って簡単なデータ解析・可視化ができるようになる

申込み方法：以下の Forms よりお申し込みください。（締切：7月22日（月））

<https://forms.gle/AGL1VaBEeEvhGYieA>

■ 3D デザインコース（定員 12 名）

開催日時：7月31日（水）10:30～16:00

8月1日（木）9:00～12:00

成果発表会 8月2日（金）13:00～15:00

対象 | 3D モデル作成をコレから学びたい人～本格的なソフトの使い方を学びたい人

内容 | 3D モデリングソフト（Fusion）を使って、自分のアイデアをカタチにできるようになる

申込み方法：以下の Forms よりお申し込みください。（締切：7月22日（月））

<https://forms.gle/yKbYGWdhDvY1eqJ69>

**【特別講演会開催概要】**

演題：機械学習用プロセッサの開発とその応用

講師：牧野 淳一郎(神戸大学大学院理学研究科惑星学専攻・特命教授)

開催日時：8月2日（金）17:00～18:00

開催場所：理学部先端科学実験棟 S401（ふすまホール） 定員 100 名

対象：大学生・教職員・一般

申込み方法：以下の Forms よりお申し込みください。（締切：8月1日（木））

<https://forms.gle/p8qjZ2HDsdVDHQB8>

**【企業の皆さんへ！】**

プログラミングやデータ解析、3D デザインに興味ある学生と繋がっていただけませんか。

YUDS では、参加学生と一緒に課題に取り組んでいただける方や、学生にアドバイスいただける方、センターの取り組みにご賛同いただける企業様を募集しています。

申込み方法：以下の Forms よりお申し込みください。（締切：7月22日（月））

<https://forms.gle/9CupnvvtQ2F3ujyu9>

お問い合わせ

学術研究院教授 奥野貴士（データサイエンス教育研究推進センター長）

TEL 023-628-4580 メール [okuno@sci.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:okuno@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

令和6年（2024年）7月4日

## 『観光地経営人材育成ハンドブック：理論編』が刊行されました

### 【本件のポイント】

- 観光地経営のスペシャリストを育成するための教科書『観光地経営人材育成ハンドブック：理論編』（山田浩久著（山形大学人文社会科学部教授））が刊行されました。
- 観光庁『ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン』対応テキストです。
- 本誌発刊にあたっては、令和5年度 山形大学研究成果公開支援制度（文系）による支援を受けました。



### 【概要】

山形大学人文社会科学部では、2017～23年に行われた寄付講義「ツーリズム産業」を開講しました（日本観光振興協会、学部生対象）。2023年には、観光庁が『ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン』を発表しており、コロナ禍を乗り越え、我が国の経済を再び発展の軌道にのせていくためには、観光の力が不可欠であるとする一方、コロナ禍を経て、社会情勢や旅行に対する意識に変化が見られる中、観光人材の育成に対する考え方も、そのような変化に対応していく必要があるとされております。このような背景から、今回、リカレント教育用の教材を開発し、テキストとして発刊しました。

本誌発刊にあたっては、令和5年度 山形大学研究成果公開支援制度（文系）による支援を受けました。

### 【背景】

2017～23年に行われた日本観光振興協会寄付講義「ツーリズム産業」（学部生対象）の後継です。2023年に、観光庁が『ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン』を発表したことに合わせ、リカレント教育用の教材が必要と判断しました。

### 【研究手法・研究成果】

筆者の一連の研究成果を参考にしながら、全文を書き下ろしました。

### 【内容】

観光庁『ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン』の内容に対応し、以下のような構成になっています。

- 第1章 地域における観光の役割と効果
- 第2章 観光地経営人材育成の必要性
- 第3章 地域課題と観光
- 第4章 観光地経営戦略の基礎的理解
- 第5章 インバウンド旅行者の増加
- 第6章 持続可能な観光
- 第7章 観光形態の多様化
- 第8章 観光行政
- 第9章 観光関連法規
- 第10章 マーケティング・ミックス
- 第11章 マーケティング分析
- 第12章 プレイス・マーケティング
- 第13章 プレイス・プロモーション
- 第14章 観光イノベーション
- 第15章 観光DX

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

各単元とも、導入+ 4 トピック+ワークシートで構成され、トピックは見開きの図解にしております。6 ページ目のワークシートの前半は可能な限り本文を読むと書ける質問にしています。後半はグループワークに備える内容になっています

**【助成】**

本誌発刊にあたっては、令和5年度 山形大学研究成果公開支援制度（文系）による支援を受けました。  
山形大学研究成果公開支援制度（文系）とは…

本学における研究成果の発信を促進するとともに、研究力を強化するため、本学所属の有望な研究を推進する研究者が評価の高い学術誌等へ論文を掲載する必要経費、図書出版費用の一部経費および作品等の一部経費を支援する制度

**【今後の展望】**

本年後後期（10月）には、『観光地経営人材育成ハンドブック：技能編』が観光予定

お問い合わせ

学術研究院教授 山田浩久（人文地理学、観光学）

TEL 023-628-4246 メール hyamada@human.kj.yamagata-u.ac.jp



# 観光地 経営人材育成 ハンドブック

観光地を経営するために  
まず理解すべきこと

山田 浩久

理論編

## CONTENTS / CHAPTER

- 01 地域における観光の役割と効果
- 02 観光地経営人材育成の必要性
- 03 地域課題と観光
- 04 観光地経営戦略の基礎的理解
- 05 インバウンド旅行者の増加
- 06 持続可能な観光
- 07 観光形態の多様化
- 08 観光行政
- 09 観光関連法規
- 10 マーケティング・ミックス
- 11 マーケティング分析
- 12 プレイス・マーケティング
- 13 プレイス・プロモーション
- 14 観光イノベーション
- 15 観光DX



# 観光地経営人材育成 ハンドブック

理論編

## 観光地を経営するためにまず理解すべきこと

山田 浩久 著 (山形大学人文社会科学部教授)

A4判フルカラー、106頁、定価1,980円、ISBN978-4-86099-427-3

電子版\*：1,980円(購入)、990円(1-yearアクセス) \*海青社eStoreで販売。

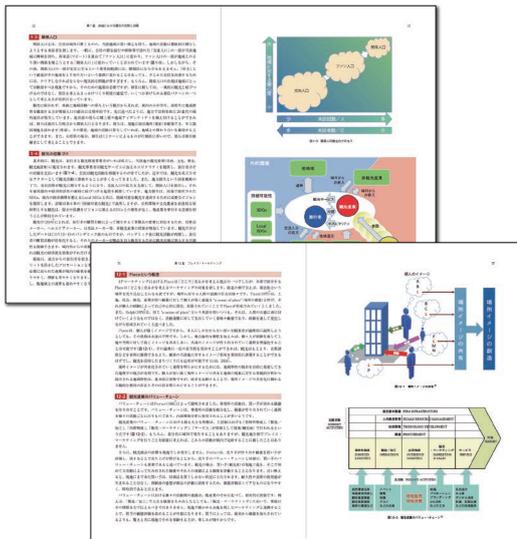
観光地経営とは、当該観光地を差別化し、地域で勝ち抜き、地域内でその恩恵を分配することです。観光関連事業者はもちろん、自治体や住民も観光地経営人材です。一丸になるための「知識」を身につけ、観光地の持続可能な成長のもとでそれぞれの豊かさを追求しましょう。



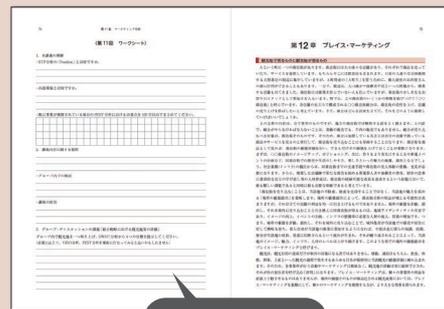
内容見本・  
電子版購入

## 観光庁『ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン』対応テキスト!!

- 第1章 地域における観光の役割と効果
- 第2章 観光地経営人材育成の必要性
- 第3章 地域課題と観光
- 第4章 観光地経営戦略の基礎的理解
- 第5章 インバウンド旅行者の増加
- 第6章 持続可能な観光
- 第7章 観光形態の多様化
- 第8章 観光行政
- 第9章 観光関連法規
- 第10章 マーケティング・ミックス
- 第11章 マーケティング分析
- 第12章 プレイス・マーケティング
- 第13章 プレイス・プロモーション
- 第14章 観光イノベーション
- 第15章 観光DX



### ●本書の構成と使い方●



ワークシート付

各章、導入文+4トピック・見開きの図解+ワークシートで構成されています。章末のワークシートはグループワークを行いながら記入してください。

●著者：山田浩久(やまだ ひろひさ)

1964年生。東北大学大学院理学研究科博士課程後期単位取得退学、博士(理)。現在、山形大学人文社会科学部教授。都市計画、都市地理学が専門。都市計画、地理学、地誌学、観光学等を担当。主な著書に、『地価変動のダイナミズム』(単著、大明堂、1999年)、『地域連携活動の実践—大学から発信する地方創生—』(編著、海青社、2019年)、『地図でみる山形—市街地に刻まれた出羽の歴史—』(編著、海青社、2021年)。

技能編

観光地経営のための技能を解説  
2024年10月発売予定  
電子版同時発売

<b>注 文 書</b>	<b>観光地経営人材育成ハンドブック・理論編</b>	定価1,980[1,800+税]円 ISBN978-4-86099-427-3	冊	【書店帳合印】
	観光地を経営するためにまず理解すべきこと			
お届け先：〒				
TEL:				
お名前： メール:				

\*公費注文の場合は見積書・納品書・請求書の宛名と日付もご指示ください。



令和6年（2024年）7月4日

## 企画展「アンモナイトの世界－深田地質研究所コレクションより」 ～“深田研”からアンモナイトがやってくる！～

### 【本件のポイント】

- 令和6年度山形大学附属博物館企画展「アンモナイトの世界－深田地質研究所コレクションより」を開催します。
- 公益財団法人深田地質研究所より貴重なアンモナイト化石約55点をお借りし展示します。アンモナイトのみに焦点を当て、系統的に紹介する展示は県内では初めてです。
- 本展をプロデュースした村宮悠介氏と相場大佑氏をお招きして講演会を開催します。



(左：村宮氏 右：相場氏)

### 【概要】

アンモナイト類は、頭足類の仲間（たとえばイカやタコ）で、古生代デボン紀に現れ白亜紀末に絶滅しました。約1万種類が知られ、進化の系列が詳しく調べられており、古生代～中生代の重要な示準化石です。本展では、公益財団法人深田地質研究所が所蔵する資料からアンモナイト類の進化の過程や生態などについてわかりやすく紹介します。また、大学教員の化石コレクションを加えて展示しアンモナイトの魅力と古生物への理解を深める展示とします。

### 【背景】

公益財団法人深田地質研究所は、1954（昭和29）年5月に、故深田錠造氏の寄附により、東京都文京区に設立された日本初の民間の地質学・地質工学の研究所です。同年10月に当時の文部省から財団法人として認可を受け、2011（平成23）年3月には、内閣府より公益財団法人として認定されて、研究、普及、育成、助成・顕彰の4つの事業を行っています。

今回、普及事業の一環としてアンモナイト化石の貸出しと、展示のプロデュースを行い、広く財団の活動と古生物学への興味関心を喚起することを目的とします。本展では、古生代から中生代にかけて生息したアンモナイトの貴重な化石を展示し、その生態や進化の過程を解説します。アンモナイトの魅力を感じられる貴重な機会です。ぜひご家族でお越しください。

### 【関連事業】

#### ●講演会「アンモナイトのすべて」

アンモナイトをどうやって見つけ、分析し研究しているのか、本展をプロデュースした古生物学者の村宮氏と相場氏がアンモナイトの世界を楽しくお話しします。

講師：公益財団法人深田地質研究所研究員 村宮悠介、相場大佑

日時：令和6年7月20日（土）10時00分～11時45分（1時間45分）

定員：100名（要申込み・先着順）

参加費：無料

会場：小白川キャンパス人文社会科学部1号館3階301教室

申込：下記フォームかお電話・メールにて受付けます。締切7月16日（火）。

＜<https://forms.office.com/r/bw5Ze2YxQU>＞



▲申込QRコード

お問い合わせ

学術情報部学術情報課／山形大学附属博物館（押野）

TEL 023-628-4930 メール [yu-hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

- アンモナイトレプリカ作り体験

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

アンモナイトからとった型にお湯でやわらかくなる樹脂を押し付けてアンモナイトのレプリカを作ります。

日 時：7月20日（土）13時30分～15時30分（定員200名）

8月3日（土）13時00分～15時00分（定員100名）

8月5日（月）10時00分～12時00分（定員100名）

※各回内容は同じです。所要時間10分程度。

対 象：小学生以上（小学1～3年生は保護者同伴）

参加費：100円（材料費）

会 場：小白川キャンパス人文社会科学部1号館1階101教室

申 込：申込み不要・当日受付・先着順

# 第21回 日本加速器学会年会 市民公開講座

## 病院で活躍する加速器 ～病気を見つけて治す令和のスーパードクター～

科学研究のために開発された、粒子に高いエネルギーを与える加速器。

現代では、その粒子ビームが医療に応用され、身近な病院でも活躍しています。

小さな加速器であるレントゲン・CTでの診断や、加速器で作った薬剤を用いる

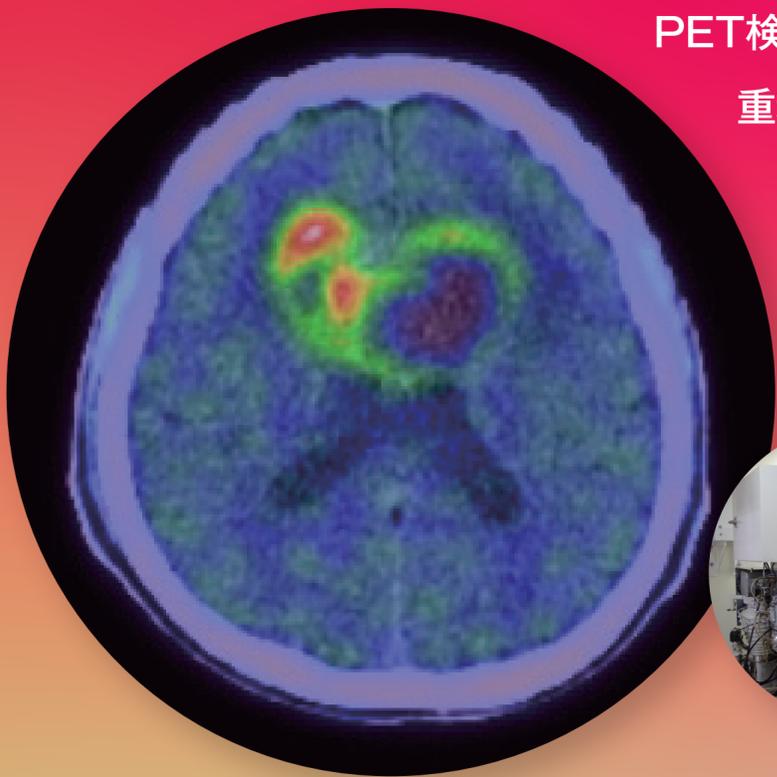
PET検査、最新鋭の加速器を用いたがんの

重粒子線治療について、山形大学

医学部・放射線医学講座の

鹿戸先生と小藤先生が

わかりやすく解説します。



### 講師

鹿戸 将史 先生

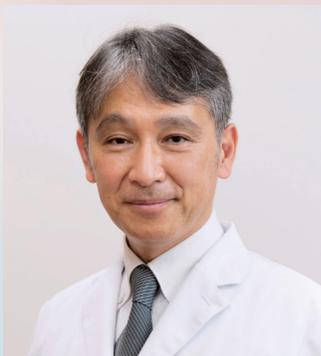
かのと まさふみ



山形大学医学部  
放射線医学講座  
放射線診断学分野 教授

小藤 昌志 先生

ことう まさし

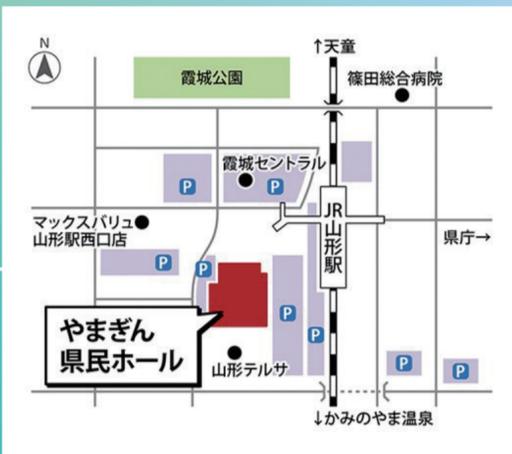


山形大学医学部  
放射線医学講座  
放射線腫瘍学分野 教授

2024 7/31 水

18:30～20:00(開場18:00)

やまぎん県民ホール  
(山形市双葉町1-2-38)



参加無料

どなたでも参加いただけます

事前申込は不要です。当日会場にお越しください。団体の方、事前予約希望の方は右のQRコードから申込フォームにご入力ください。



主催 一般社団法人日本加速器学会 共催 山形大学医学部・山形大学理学部 後援 山形コンベンションビューロー

連絡先 日本加速器学会年会ヘルプデスク 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター pasj-desk@conf.bunken.co.jp  
お電話でのお問い合わせ 023-628-5404 (山形大学医学部東日本重粒子センター)